

株式会社ブロードバンドセキュリティ  
2019年6月期 通期決算説明資料



2019年8月13日

**2019年6月期 通期 業績サマリー**

**当期のトピックスのご紹介**

**株式会社ブロードバンドセキュリティについて**

**2019年6月期 通期 業績サマリー**



当期のトピックスのご紹介

株式会社ブロードバンドセキュリティについて

## 売上高は増収、売上原価および販管費等の増加により減益

単位：百万円

科目	2018年6月期 通期実績	2019年6月期 通期実績	前年同期比	
			差異	増減率
売上高	3,346	3,670	324	+9.7%
セキュリティ監査・コンサル	763	726	△ 37	△4.9%
脆弱性診断	899	1,096	196	+21.9%
情報漏えいIT対策	1,682	1,847	164	+9.8%
売上原価	2,551	2,823	271	+10.6%
販売費及び一般管理費	613	727	113	+18.5%
営業利益	181	120	△ 60	△33.3%
売上高営業利益率	5.4%	3.3%	△2.1p	-
経常利益	154	73	△ 81	△52.8%
売上高経常利益率	4.6%	2.0%	△2.6p	-
当期純利益	172	59	△ 112	△65.2%

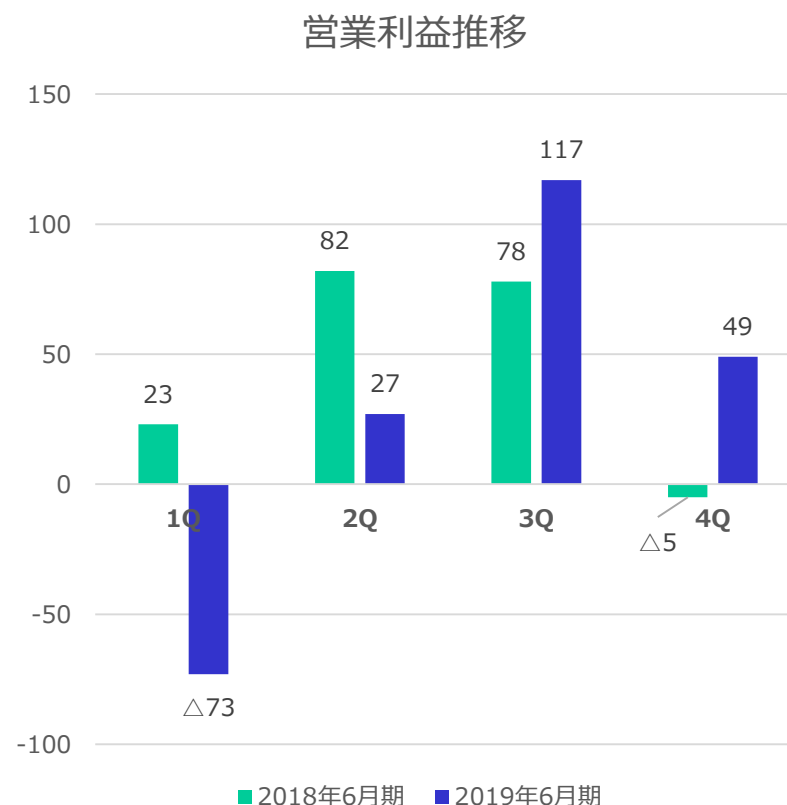
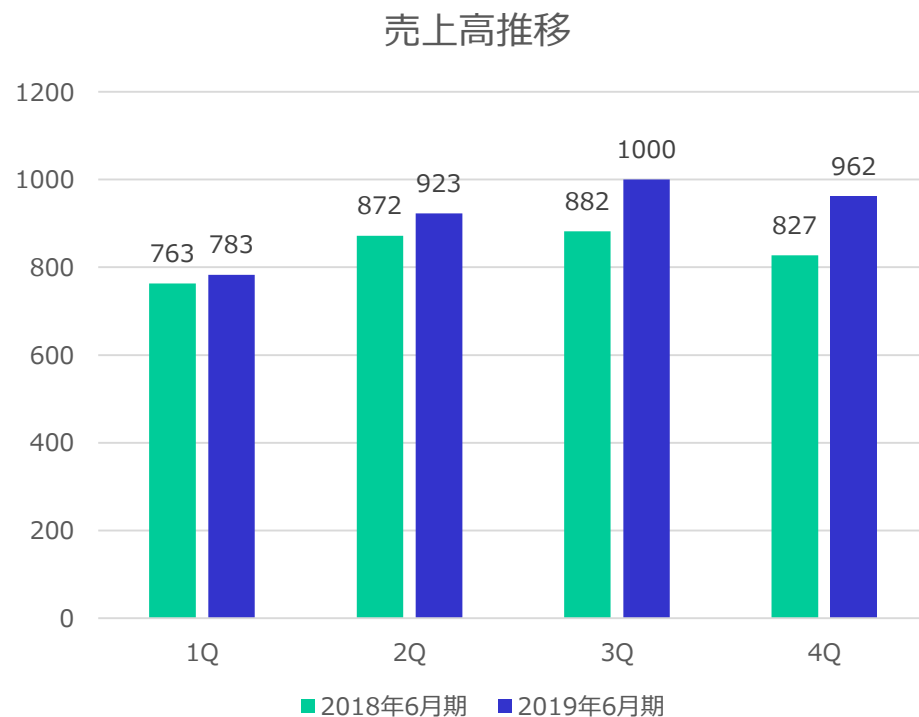
科目別  
増減ポイント

売上高	セキュリティ監査・コンサルティング	前年度の反動でクレジットカード業界向けが△80、一般向けは+42
	脆弱性診断	大型受注の増加（SIer、DC事業者等からの一括請負）で大幅増
	情報漏えいIT対策	継続系サービスが軒並み増加（+9%）
営業利益	売上増に伴う仕入増等で売上原価が前年+271（+11%）。うち労務費は+100（+10%） 販管費+113（+18%）うち人件費が+72（+21%）	
経常利益	営業外費用としてIPO関連費用の増加等で+21（+80%）	
当期純利益	税効果会計の影響で法人税等が+28	

# 四半期単位の売上および営業利益は順調に推移

前年度比較で、毎四半期増収基調を継続  
営業利益については、3Q以降は前年を上回る

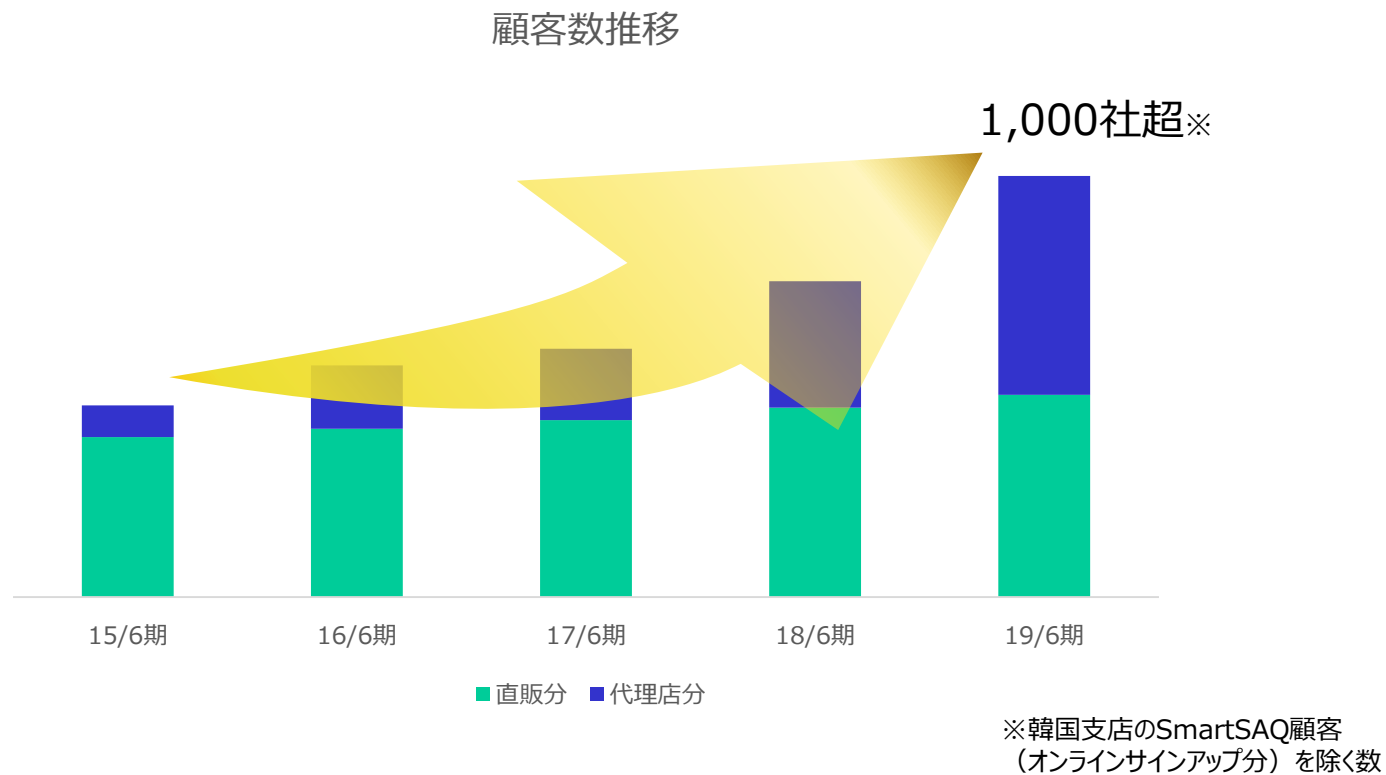
単位：百万円



※2018年6月期1Qおよび同2Qは監査法人の四半期レビューの対象外です。

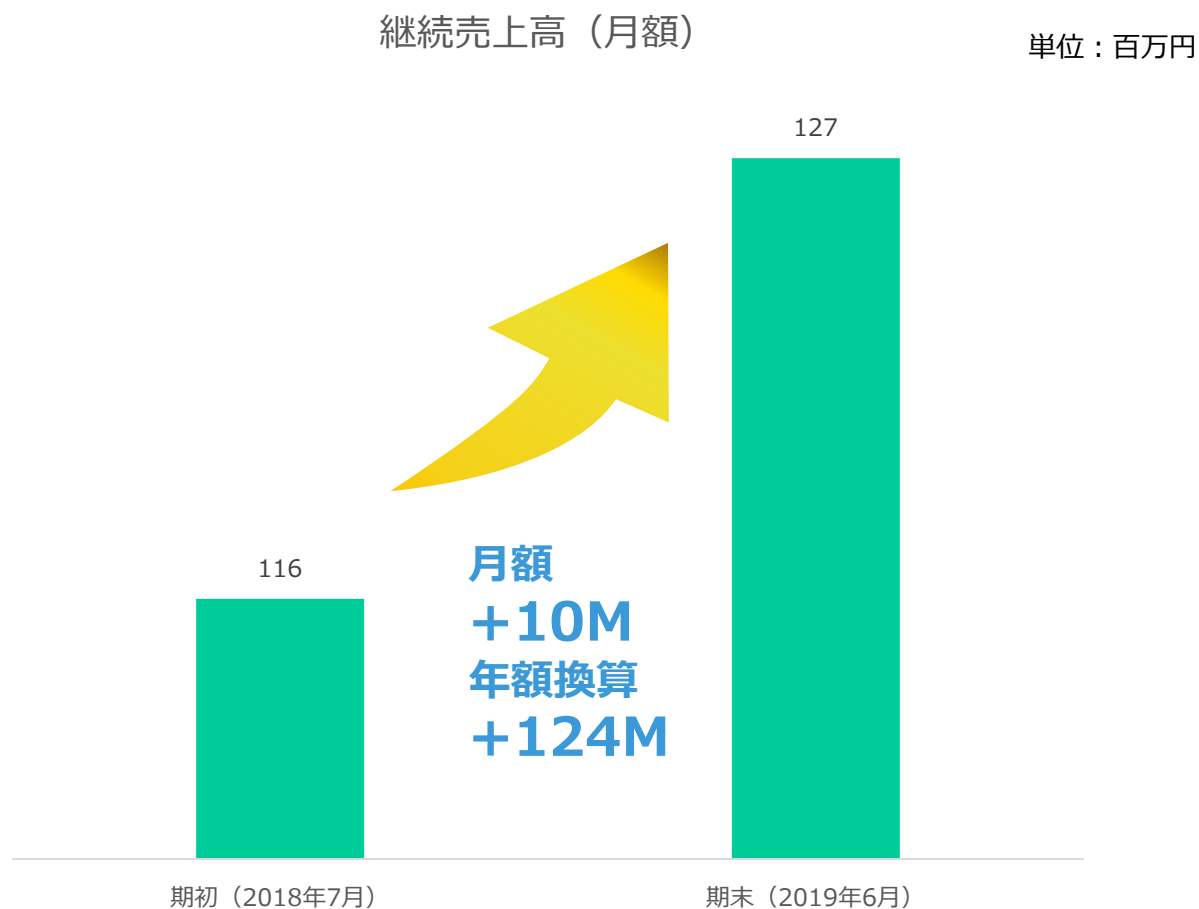
# 顧客数が1000社を突破

2019年6月期に取引があった顧客数は1000社を突破  
特に代理店からの受注が大きく寄与



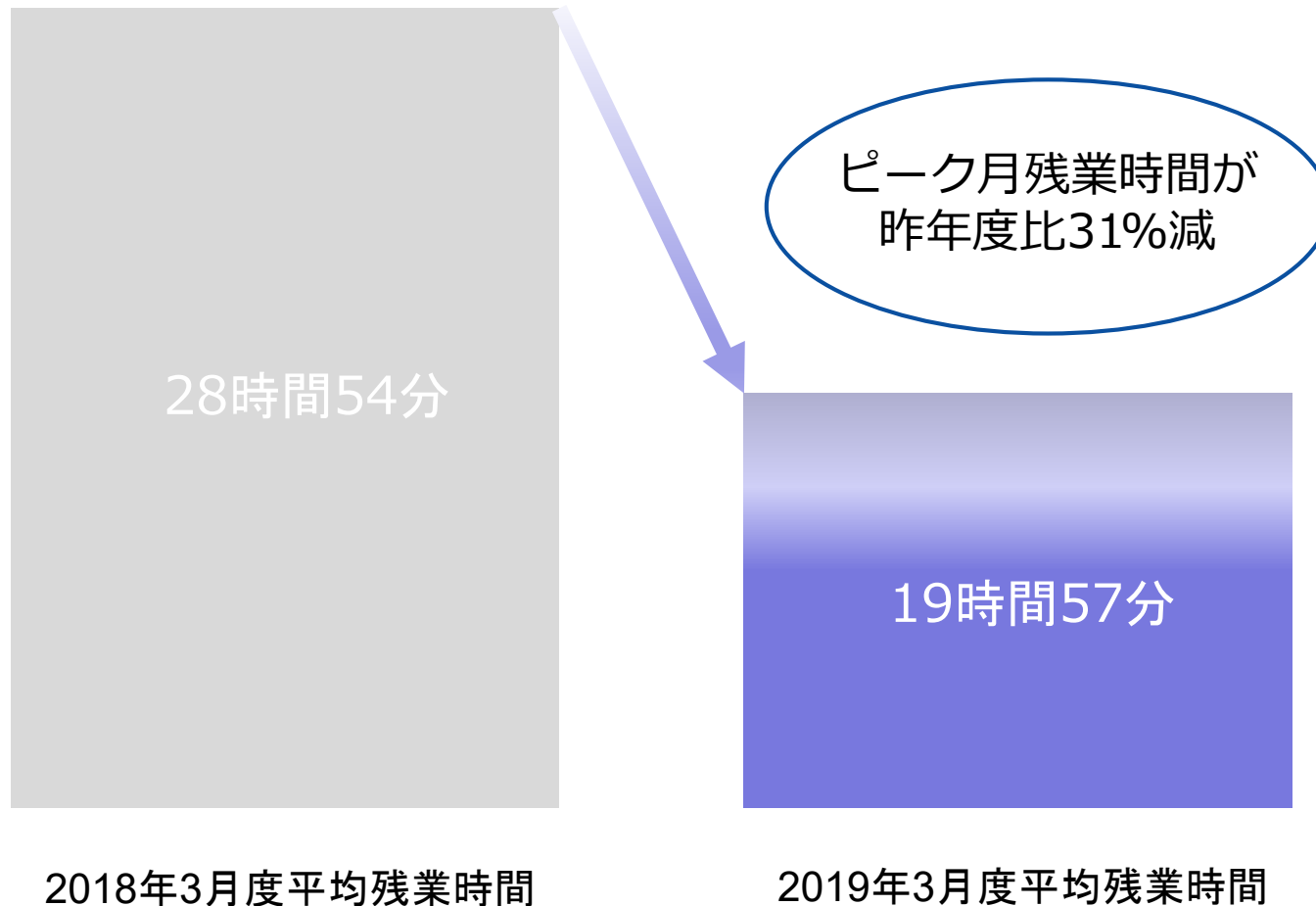
## 継続品目の積上

期初期末比較で、継続（年間契約）品目の売上高が**10M円/月増**となり  
2020年6月期の安定的な売上**124M円/年**として寄与予定



## 残業時間の大幅削減を実現

案件の受け入れスケジュールの徹底管理、AI積極活用による自動化等が奏功し  
前年度より大幅増収となったピーク月（3月）でも残業時間は大幅削減を実現





# 期初予想比

監査・コンサル売上高、クレジットカード業界向けが減少（一般企業向けは増加）  
脆弱性診断は予想以上の引き合いをこなしつつ原価も削減  
販管費のうち、新規サービスに向けた調査コンサル委託等が増加  
結果、利益が予想を下回る

単位：百万円

科目	2019年6月期 通期予想	2019年6月期 通期実績	期初予想比	
			差異	増減率
売上高	3,700	3,670	△ 29	△0.8%
セキュリティ監査・コンサル	838	726	△ 111	△13.3%
脆弱性診断	976	1,096	119	+12.3%
情報漏えいIT対策	1,884	1,847	△ 37	△2.0%
売上原価	2,836	2,823	△ 13	△0.5%
販売費及び一般管理費	678	727	48	+7.1%
営業利益	185	120	△ 64	△34.7%
売上高営業利益率	5.0%	3.3%	△1.7p	-
経常利益	155	73	△ 82	△53.0%
売上高経常利益率	4.2%	2.0%	△2.2p	-
当期純利益	134	59	△ 74	△55.4%

科目別  
増減ポイント

売上高	セキュリティ監査・コンサルティング	予想比△111のうちクレジットカード業界向け△143、一般企業向け+32
	脆弱性診断	3月単月では過去最高の売上高を記録、残業・外注も抑制し利益貢献大
	情報漏えいIT対策	継続系サービスは予想比+18、スポット系（SIEM、訓練等）△42
営業利益	設備投資時期見直しによる減価償却費の減少により予想を下回る△13（△0.5%）が、販管費が新規サービス調査コンサル委託等で予想を上回り+48（+7.1%）となり、営業利益予想を下回る△64（△34.7%）	

# 貸借対照表サマリー

## 公募増資により自己資本比率が上昇

単位：百万円

科目	2018年6月期	2019年6月期	前期末比
流動資産	932	<b>1,507</b>	161.7%
うち現預金	306	<b>706</b>	230.8%
固定資産	713	<b>1,051</b>	147.3%
<b>資産合計</b>	1,646	<b>2,558</b>	155.4%
流動負債	832	<b>1,108</b>	133.1%
固定負債	419	<b>631</b>	150.5%
<b>負債合計</b>	1,252	<b>1,739</b>	138.9%
<b>純資産合計</b>	393	<b>818</b>	208.0%
(自己資本比率)	23.9%	32.0%	+8.1p

# キャッシュフロー

単位：百万円

科目	2018年6月期	2019年6月期	差異
営業活動によるキャッシュ・フロー	414	327	-86
投資活動によるキャッシュ・フロー	-197	-223	-26
財務活動によるキャッシュ・フロー	-178	298	477
現金及び現金同等物の増減額	38	400	362
現金及び現金同等物の期首残高	267	306	38
現金及び現金同等物の期末残高	306	706	400

## 2020年6月期予想

1. 脆弱性診断を当面の成長エンジンと位置付け経営資源を重点配分  
将来的には売上高20億円を目指す
2. 監査・コンサルは海外展開を加速、国内はエンタプライズコンサルマーケットへのシフトを図る
3. 情報漏えいIT対策では、魅力ある新サービスの開発を進めながら、既存サービスの稼働率を上げるにより、利益率の向上を図る

単位：百万円

科目	2019年6月期 通期実績	2020年6月期 通期計画	前年同期比	
			差異	増減率
売上高	3,670	4,358	687	+18.7%
セキュリティ監査・コンサル	726	759	32	+4.4%
脆弱性診断	1,096	1,400	303	+27.7%
情報漏えいIT対策	1,847	2,198	351	+19.0%
売上原価	2,823	3,163	340	+12.1%
販売費及び一般管理費	727	894	167	+23.0%
営業利益	120	300	179	+148.4%
売上高営業利益率	3.3%	6.9%	+3.6p	-
経常利益	73	278	205	+281.4%
売上高経常利益率	2.0%	6.4%	+4.4p	-
当期純利益	59	182	122	+204.5%

2019年6月期 第2四半期 業績サマリー

**当期のトピックスのご紹介**



株式会社ブロードバンドセキュリティについて

## 当期のトピックスのご紹介

### 2018年

9月 AI搭載の自動脆弱性診断をリリース

11月 株式会社JSOLと業務提携

### 2019年

1月 エンドポイントセキュリティ運用支援サービスを開始

2月 QRコード決済事業者向け、セキュリティリスクの可視化および対策コンサル開始

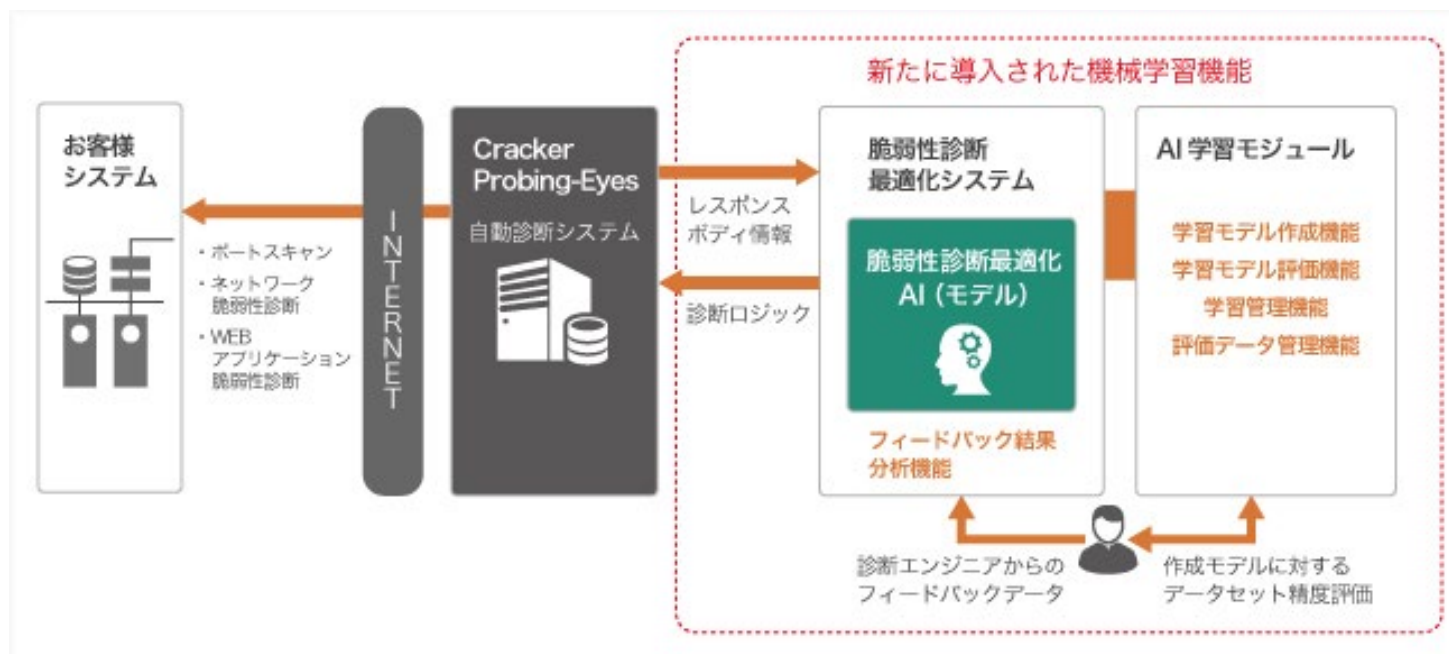
4月 重要インフラ、工場やビル管理向けセキュリティリスクアセスメントサービスを開始

6月 統合型リゾート（IR）におけるセキュリティ運用事業の展開準備開始

# AI搭載の自動脆弱性診断サービスをリリース（2018.9.26）

NTTテクノクロス株式会社の支援を受け、当社のASP型デイリー自動脆弱性診断サービス「Cracker Probing-Eyes」に機械学習機能を搭載しました。

サービス概念図



## ポイント

1. サーバ負荷を低減し、よりスピーディに診断を実施
2. "進化するエンジン"により、日々診断の精度が向上

## 株式会社JSOLと業務提携（2018.11.28）

株式会社JSOLと、販売パートナー契約を締結。ICTサービスコーディネーターとしてのセキュリティ提案、サービス提供などに、当社セキュリティサービスをご活用いただきます。

### 当社を選択された主な理由

- ✓ 高い技術力と、それを分かりやすく説明できるコンサルタントとの連携
- ✓ 顧客ニーズに適合した提案
- ✓ 信頼できる24/365体制の運用サービス、インシデント発生時緊急対応など、豊富なサービスラインナップ

### ポイント

年々増大する顧客からのセキュリティ対策ニーズに対して、セキュリティ専門ベンダーとの提携による的確なソリューションを提供することが可能に。



# エンドポイントセキュリティ運用支援サービスを開始（2019.1.28）

従来型アンチウイルス製品では検知が困難な、ファイルレス攻撃等の増加を背景とする顧客ニーズに応えるため、エンドポイントのサイバーセキュリティ対策を支援するサービス「EDR-MSS for CB Defense」を開始。

## ＜サービスの特長＞

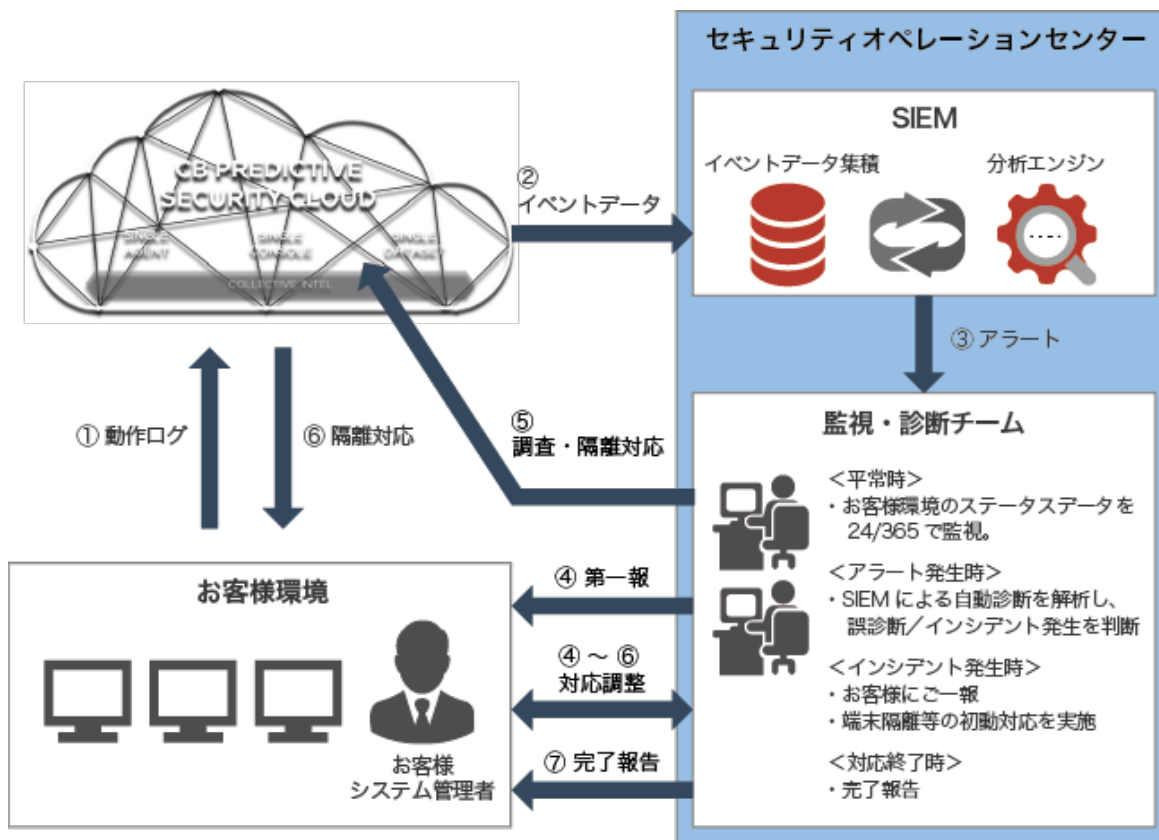
従来型アンチウイルス製品のリプレイが可能

難易度の高いCB Defenseの設定を支援

迅速な運用支援によるリスクの最小化

お客様の運用負担軽減

重大インシデントへの柔軟かつ連携した対応



# QRコード決済事業者向け、セキュリティリスクの可視化および対策コンサルティングサービスを開始（2019.2.21）

日本政府が「キャッシュレス・ビジョン」において、2027年までにキャッシュレス決済比率を、現在の約2割から4割に倍増させる計画の中、QRコード決済にまつわるセキュリティリスクの低減を支援するサービスを開始。

QR 決済セキュリティコンサルティングサービスにおける BBSec の強み

セキュリティリスクの可視化～コンサルテーション～セキュリティ診断テストまで  
一貫したソリューションで提供可能

## セキュリティ コンサルティング サービス

### 国際資格をもつ 多数のコンサルタント

- ・ P2PE QSA 2名
- ・ 3DS Assessor 2名
- ・ QSA 26名
- ・ AQSA 6名

### 豊富な実績

- ・ 2008年から積み上げてきた信頼性
- ・ PCI DSS 準拠評価認定付与企業数 88社
- ・ PCI DSS GAP 分析、設計コンサルティング等実施案件数 246 案件

### 国内キャッシュレス化 推進に協力

- ・ 産学官連携組織「一般社団法人キャッシュレス推進協議会」への参画

(2019年2月現在)

## 診断サービス (SQAT®)

2009年から積み上げてきた「セキュリティ診断サービス」  
新たなセキュリティリスクと日々向き合ってきた多数の実績

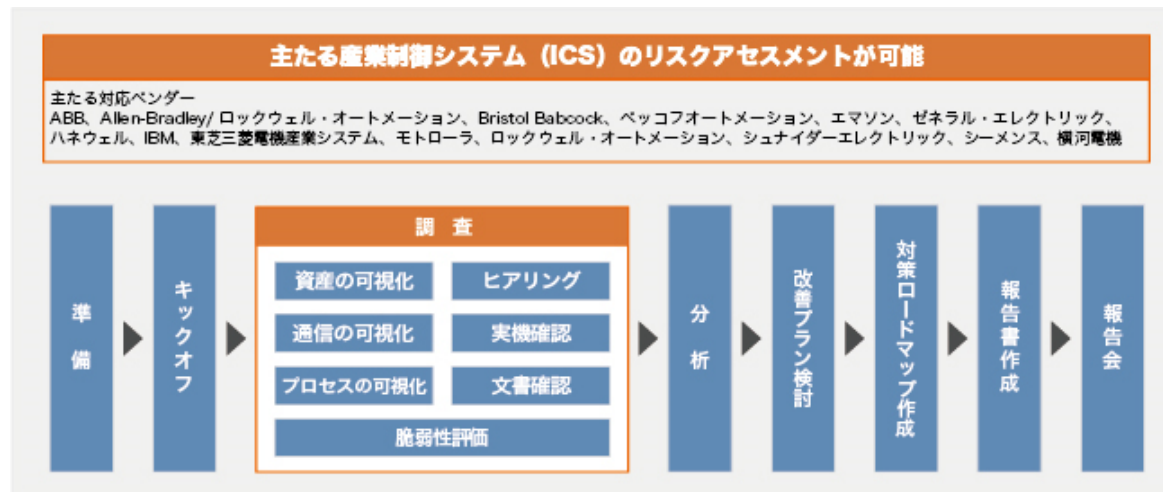


# 重要インフラ、工場やビル管理向けセキュリティリスクアセスメントサービスを開始 (2019.4.3)

株式会社テロロジーと共同で、重要インフラ、工場やビル管理の産業用制御システムに向けた「制御システム・セキュリティリスクアセスメントサービス」の提供を開始いたしました。

テロロジーが販売するNozomi Networks Inc. 「Nozomi Networks」の「SCADAguardian」を採用、AIと機械学習を駆使し、Nozomi Networks独自のDPI（Deep Packet Inspection）技術によるリアルタイムな産業用制御システムのネットワーク監視を行い、対象となる制御システムの資産・ネットワーク情報、脆弱性および通信の挙動を可視化します。

その結果をBBSecの技術者が精査、解析等を実施するとともに、BBSec独自フレームワークを用いて第三者の立場から現在実施されているセキュリティ対策の有効性と網羅性をチェックしたうえで「情報セキュリティリスク 第三者評価報告書」として報告いたします。同時にBBSecが設立以来蓄積してきたセキュリティ知見に基づく「対策ロードマップ」も提出します。



# 統合型リゾート（IR）におけるセキュリティ運用事業の展開準備開始 (2019.6.17)

米国Table Trac, Inc.(本社：ミネソタ州、President & CEO: Chad B. Hoehne、以下「TT社」と、TT社が独自に開発したIT管理システム（Casino Management System 以下、「CMS」）に対する日本国内独占使用許諾権契約を締結しました。本CMSへの独占使用許諾権が付与されるのは、当社が世界初となります。

今後、セキュリティ面を核として、同システムを日本の法律要件に適合するよう機能改良すると共に、関係機関とのデータ連携が可能となるよう生体認証機能及び全般的なデータセキュリティ確保など追加開発を行なってまいります。

新たに改修したCMSが「日本のデファクト・スタンダードCMS」の地位を確保し、日本におけるIR事業が世界で最も安全で堅牢に運用されることを目指して参ります。

TT社からのリリース→

**CASINOTRAC™**



**TABLE TRAC INC. (CasinoTrac) SIGNS EXCLUSIVE LICENSE AGREEMENT WITH TOKYO BASED BROADBAND SECURITY INC. FOR ADAPTATION OF IT'S CASINO MANAGEMENT SYSTEM FOR THE JAPANESE GAMING MARKET.**

Tokyo Japan based BroadBand Security, Inc. (4398.T) engages in the business of information technology, security management and consulting services. The company trades on the Tokyo Exchange. BBSec has signed an exclusivity contract with Table Trac Inc. (TBTC-OTCQB) to integrate the CasinoTrac casino management system (CMS) to the Japanese Gaming market where legalized gambling was officially approved in September of 2018.

The project, spearheaded by BroadBand Security, Inc., will consist of a working team of companies to provide a comprehensive resort and casino management package for the "JAPAN INTEGRATED RESORTS COMBINED MANAGEMENT SYSTEM PROJECT."

Japan is expected to become the second largest gaming jurisdiction in the world, behind only Macau, creating between 15 and 25 Billion dollars a year in revenue. According to UNLV, 2017 gross revenue for all of Nevada from gaming sources, was just over \$11 Billion.

Table Trac's casino management system is in over 150 casinos in 12 countries and is multi-lingual, multi-currency and multi-tax reporting.

"I want to thank BroadBand President Akira Mochizuka, Executive Director, Yasunari Kumono and Dr. Takafumi Shido (Chief Engineer) for the privilege to become part of BroadBand's vision for a JAPAN INTEGRATED RESORTS COMBINED MANAGEMENT SYSTEM PROJECT. This is truly a watershed moment for Table Trac. We are honored to contribute to this team of worldwide recognized companies where Table Trac's CASINOTRAC system will be integrated with Japanese systems as they create the ALL JAPAN PROJECT." stated Chad Hoehne, Table Trac founder, CEO and Chief Technology Officer.

DIRECT INQUIRIES TO:

Bob Siqveland-Table Trac Inc.

1-952-548-8877

bob@tabletrac.com

2019年6月期 第2四半期 業績サマリー

当期のトピックスのご紹介

**株式会社ブロードバンドセキュリティについて**



# 会社概要

## 会社名

株式会社ブロードバンドセキュリティ (略称：BBSec)  
BroadBand Security, Inc.

## 本社所在地

東京都新宿区西新宿8-5-1  
野村不動産西新宿共同ビル4F (〒160-0023)

## URL

<https://www.bbsec.co.jp/>

## 設立

2000年11月30日

## 資本金

2億8,169万円

## 決算期

6月

## 株式公開情報

市場：東京証券取引所 JASDAQスタンダード市場  
上場日：2018年9月26日  
株式コード：4398

## 従業員数

200名

## 代表者

代表取締役社長 持塚 朗

## 事業内容

1. セキュリティ監査・コンサルティングサービス
2. 脆弱性診断サービス
3. 情報漏洩IT対策サービス

## 事業所

国内：天王洲オフィス、大阪支店、名古屋支店  
海外：韓国支店  
オペレーションセンター：1 拠点 (東京都内)

(2019年7月末現在)



# 会社沿革

<b>2000</b> <b>会社設立</b>	<b>2005</b> <b>セキュリティ サービス開始</b>	<b>2009</b> <b>セキュリティ 特化</b>	<b>2012</b> <b>グローバル化</b>	<b>2016</b> <b>統合 サービス化</b>	<b>2018</b> <b>公開企業化</b>
<p>国内ブロードバンド網の相互接続インフラを提供すべく会社を設立</p> <hr/> <p>2000年11月 会社設立（社名：(株)ブロードバンドエクスチェンジ）</p> <p>2004年10月 合併によりネットワーク監視事業を追加</p> <p>2004年10月 大阪支店設立</p>	<p>初のセキュリティサービス「セキュアメールASPサービス」を開始</p> <hr/> <p>2006年5月 (株)ブロードバンドセキュリティに社名変更</p> <p>2006年10月 ソースコード診断サービス提供開始</p> <p>2007年1月 「SQAT」情報システム品質分析サービスを提供開始</p> <p>2008年5月 PCI DSSの認定審査機関「QSAC」認定取得</p>	<p>サービスを再整理し、セキュリティ事業に特化</p> <hr/> <p>2009年1月 デイリー脆弱性診断サービス提供開始</p> <p>2009年2月 BEXサービスを事業譲渡開始</p> <p>2009年4月 セキュリティオペレーションセンター開設</p> <p>2009年4月 「PCI DSS準拠支援サービス」を提供開始</p>	<p>国内企業の海外展開支援をするために、韓国支店オープン</p> <hr/> <p>2012年3月 韓国営業所（現韓国支店）設立</p> <p>2013年3月 デジタルフォレンジック事業開始</p> <p>2013年10月 モダンマルウェア検知サービス「MARS」を提供開始</p> <p>2015年5月 PCI DSS準拠支援サービスのグローバル対応本格展開</p>	<p>サービス提供範囲をITのみから組織全体へと拡大</p> <hr/> <p>2016年5月 PCI DSSオンサイト評価サービスを米国、ヨーロッパに拡大</p> <p>2016年8月 PCI DSSのP2PE認定審査機関「QSA（P2PE）」取得</p> <p>2017年5月 インターネット分離サービス提供開始</p> <p>2017年10月 パブリッククラウド向けセキュリティ診断サービスを開始</p>	<p>お客様の基幹に触れる事業者としての責任を果たすべく、株式公開</p> <hr/> <p>2018年5月 PCI 3DS準拠支援コンサルティング・審査サービスを開始</p> <p>2018年9月 東京証券取引所JASDAQ市場への新規上場</p> <p>2018年12月 ポータルサイトでのPCI DSS準拠支援サービスを開始</p>

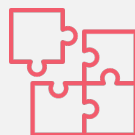
# ブロードバンドセキュリティ（BBSec）とは

セキュリティ対策の可視化から運用までをトータルに支援する、セキュリティサービスプロバイダー



常にお客様に  
寄り添い  
現状の可視化から  
日々の運用までの  
ライフサイクルを  
トータルに支援

セキュリティ対策の  
現状調査・可視化  
企画・検討



セキュリティ監査・  
コンサルティングサービス

- セキュリティ・アドバイザー
- リスクアセスメント
- ウィルス感染チェック
- CSIRT 構築 / 運用支援
- セキュリティログ分析 / 活用支援
- PCI DSS準拠支援 / オンサイト評価
- 標的型攻撃メール訓練 他

脆弱性診断サービス

- WEB アプリケーション脆弱性診断
- ネットワーク脆弱性診断
- データベース診断
- スマホアプリ脆弱性診断
- パブリッククラウド向け脆弱性診断
- ソフトウェア品質自動分析診断
- WEB サイトコンテンツ改ざん検知 他

セキュリティ対策の  
導入・運用



情報漏洩  
IT対策サービス

- セキュアメール
- マネージドセキュリティ
- モダンマルウェア検知
- インターネット分離クラウド
- SIEM 運用 / 分析
- Splunk 自動遮断連携
- エンドポイントセキュリティ運用支援 他

※1 PCI DSS Payment Card Industry Data Security Standard ※2 CSIRT Computer Security Incident Response Team  
※3 SIEM Security Information and Event Management



# サービス一覧

## セキュリティ監査・コンサルティングサービス

お客様システムの可視化、課題抽出、課題解決を目的とした、組織全体に対するセキュリティ支援サービス。IT・組織双方を対象とした各種サービスは、企業のセキュリティにおける盲点を発見し、実現可能な解決策をご提示いたします。



### 可視化・課題解決

- セキュリティ・アドバイザリ
- リスクアセスメントサービス
- ウィルス感染チェック
- ネットワーク機器設定診断



### セキュリティ認証取得

- PCI DSS準拠支援
- PCI DSSオンサイト評価
- 日々ログ
- Smart SAQ Online
- ISO27001認証取得支援
- プライバシーマーク取得支援



### 体制構築

- CSIRT 構築／運用支援
- セキュリティログ分析／活用支援



### 情報提供

- 脆弱性情報提供

## 脆弱性診断サービス

お客様システムに潜む脆弱性を検証するサービスです。数多くの攻撃手法が出現し、より巧妙化する中、脆弱性診断は、新規開発時だけでなく、当初脆弱性が存在しなかった運用中のアプリケーションにも定期的実施すべきプログラムです。



### スポット型脆弱性診断

- WEBアプリケーション脆弱性診断
- パブリッククラウド向け脆弱性診断
- データベース診断
- ネットワーク脆弱性診断
- ソフトウェア品質分析診断
- スマホアプリ脆弱性診断
- SaaS型ソフトウェア品質自動分析診断



### 脆弱性診断保守

- WEBサイトコンテンツ改ざん検知
- デイリー自動脆弱性診断

## 情報漏洩IT対策サービス

たった一つのセキュリティパッチに対処しなかったために会社全体に大きな損害を与える。慎重かつ堅実な継続的作業を求められるセキュリティ運用をセキュリティのプロフェッショナルが**24時間・365日**体制で支援いたします。



### セキュリティ運用支援

- マネージドセキュリティ
- WAF運用
- モダンマルウェア検知
- Splunk運用／分析
- Splunk自動遮断連携
- エンドポイントセキュリティ



### インターネット分離

- インターネット分離クラウド



### 緊急対応

- 緊急対応サービス
- デジタルフォレンジック



### セキュアメール

- セキュアメールホスティング
- セキュアメールゲートウェイ



### 教育

- 標的型攻撃メール訓練

当社が多くのお客様から選ばれるのには、理由があります。

## ニュートラル



最適な改善策を提示するために  
欠かせないベンダーニュートラル性

## 技術対応力



経験、知識、情報網を核とした  
最先端の技術対応力

## 信頼性



サービスご利用の高いリピート率が  
示す高信頼性

## ユーザーオリエンテッド



お客様個別のニーズやスピードに  
お応えする柔軟な体制

# 当社の強み

## 多彩なサービスメニューで顧客ニーズに対応

### ◆網羅性の高いサービス内容

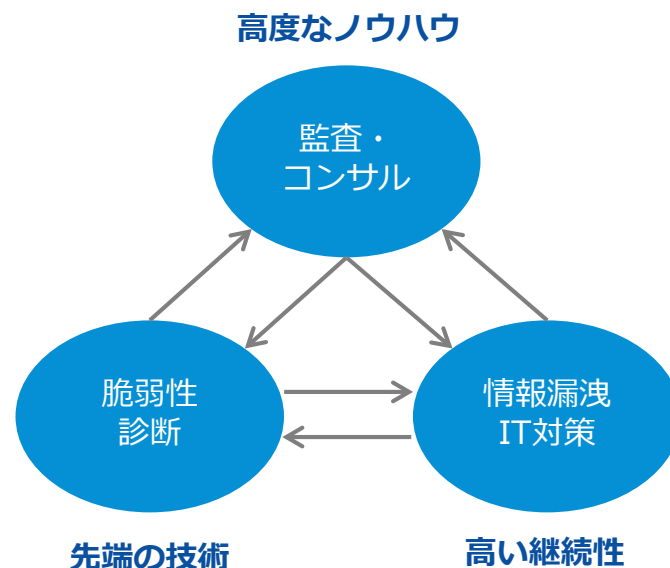
サービスジャンル	サービス内容	当社	A社	B社	C社
セキュリティ監査・ コンサルティングサービス	PCI DSS準拠支援・オンサイト評価	●		●	※ 1
	セキュリティコンサルティング	●	●	●	●
脆弱性診断サービス	手動診断	●	●	●	●
	スマートフォンアプリ診断	●	●	●	
	年間自動ツール診断	●	●		
情報漏洩IT対策サービス	セキュリティ機器マネージド	●	●	●	●
	セキュアメール	●			※ 2
	マルウェア検知	●	●	●	
	標的型メール攻撃訓練	●	●	●	
	ウイルス感染チェック	●	●	●	
	SIEM構築、運用支援	●	●	●	
	デジタルフォレンジック	●	●	●	
	インターネット分離クラウド	●	※ 2	※ 2	※ 2
	セキュリティソリューション販売	※ 3	●	●	●

※ 1 コンサルティングのみ

※ 2 代理販売のみ

※ 3 運用サービスに関連する場合のみ例外的に販売

### ◆様々な切り口からサービスを展開



### サービス導入・展開例

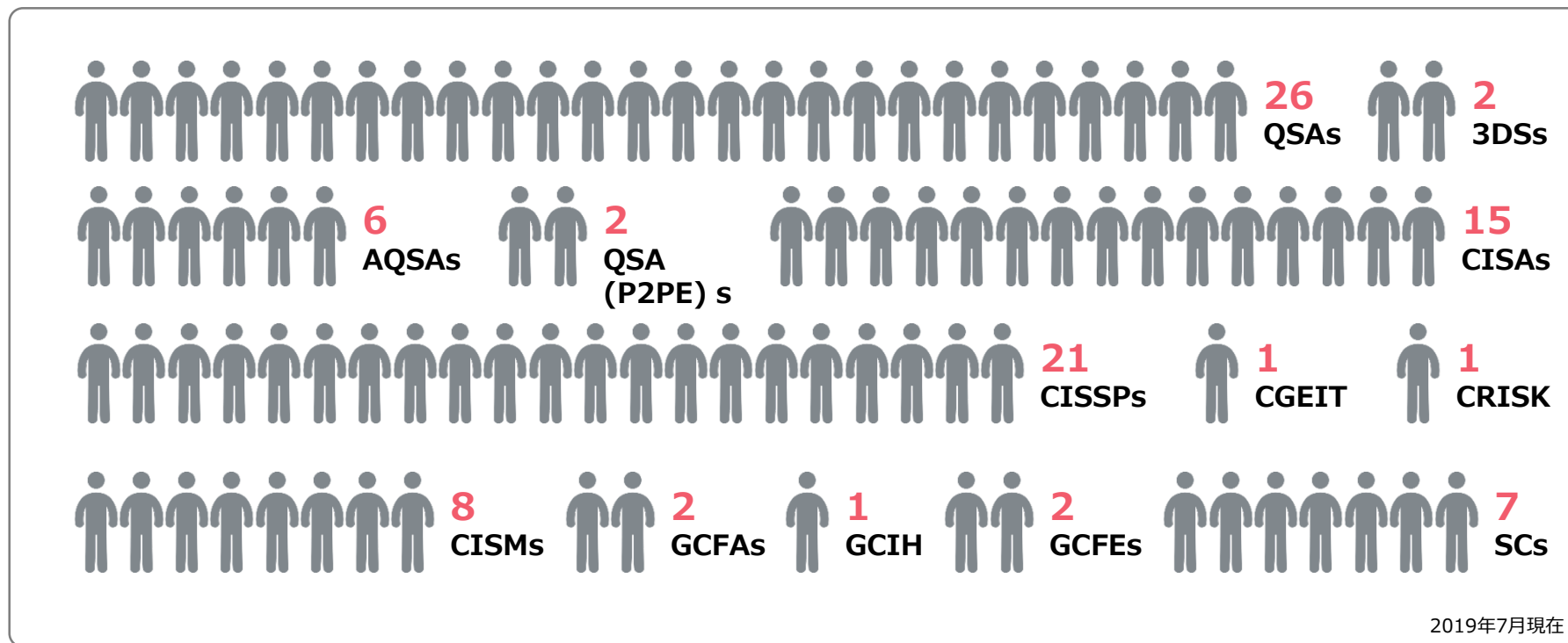
①メール訓練サービス

↓  
②セキュリティ・アドバイザリ

↓  
③脆弱性診断、マルウェア検知導入

# 高い技術対応力

セキュリティの公的資格をもつ技術者が多数在籍。  
多角的にお客様のセキュリティ対策を検証・支援いたします。



QSA: Qualified Security Assessor  
AQSA: Associate Qualified Security Assessor  
QSA(P2PE): QSA (Point-to-Point Encryption)  
3DS: 3-D Secure Assessor  
認証機関: PCI Security Standards Council

SC: 情報処理安全確保支援士  
認証機関: 経済産業省

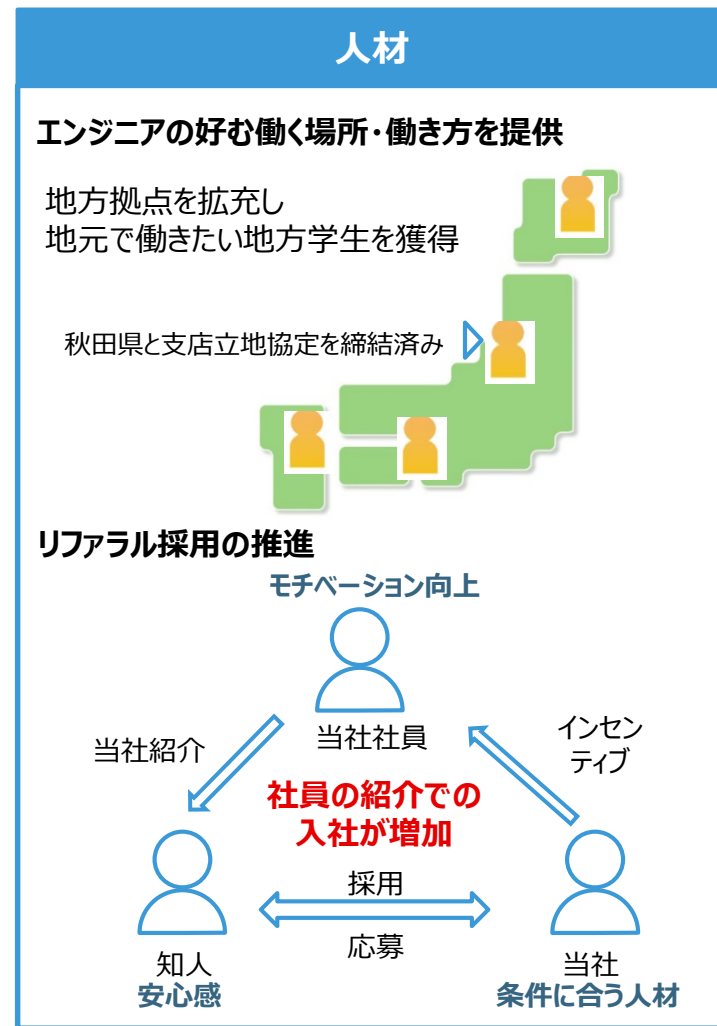
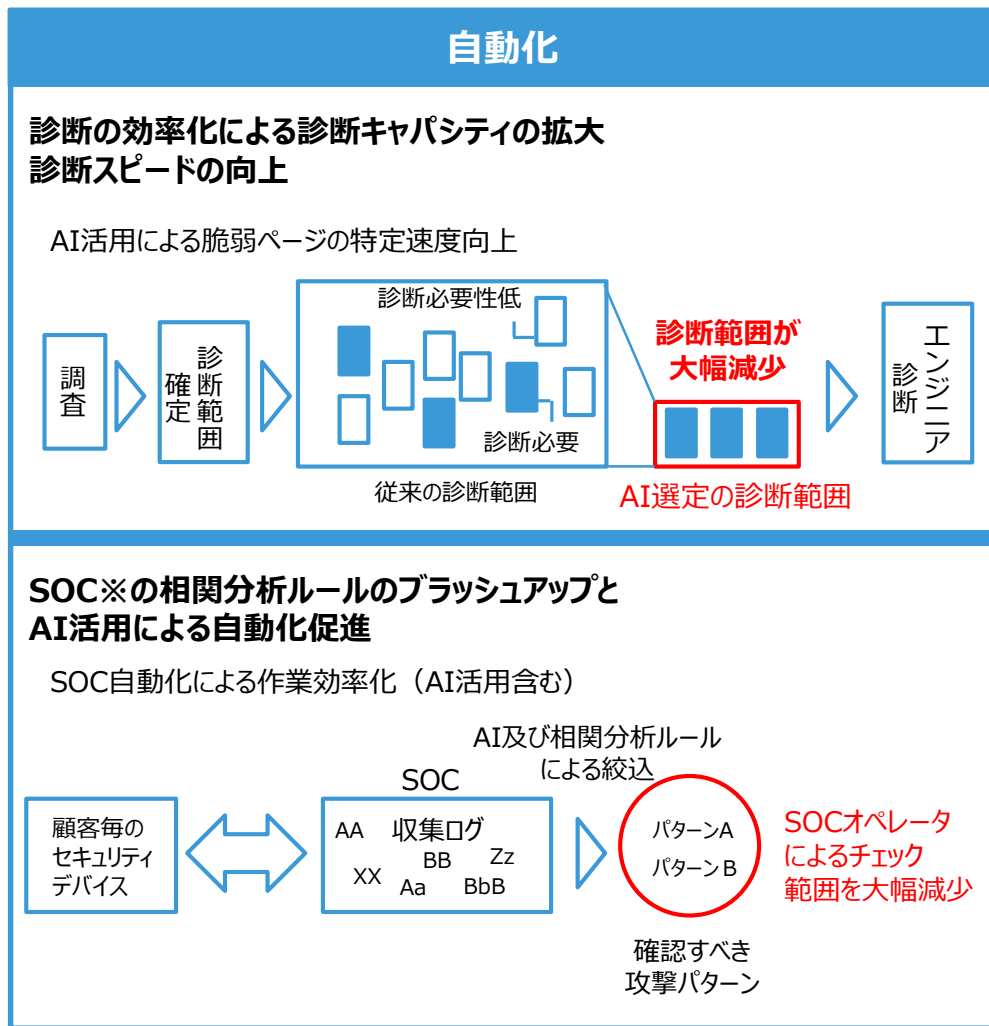
CISSP: Certified Information Systems Security Professional  
認証機関: International Information Systems Security Certification Consortium ((ISC)<sup>2</sup>)

GCFAs: Certified Forensic Analyst  
GCIH: Certified Incident Handler  
GCFEs: Certified Forensic Examiner  
認証機関: Global Information Assurance Certification

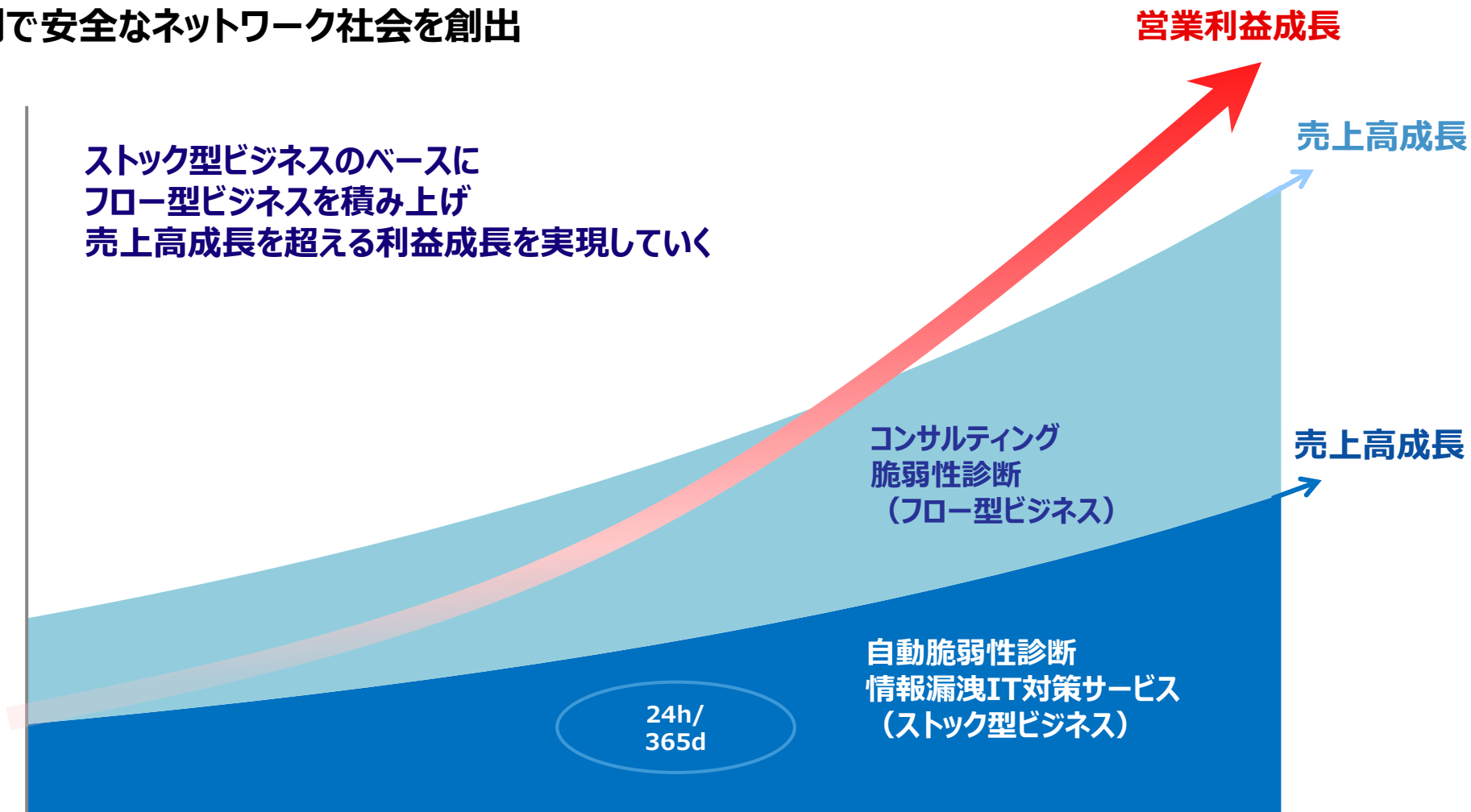
CISA: Certified Information Systems Auditor  
CISM: Certified Information Security Manager  
CGEIT: Certified in the Governance of Enterprise IT  
CRISC: Certified in Risk and Information Systems Control  
認証機関: Information Systems Audit and Control Association (ISACA)

# 今後の戦略～自動化×人材による収益性向上

## 自動化×人材で更なる成長率の向上を目指す



多角的なセキュリティサービスの提供により  
便利で安全なネットワーク社会を創出





本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。

これらは現在における見込、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、業界並びに市場の状況、金利、為替変動といった国内、国際的な経済状況の変動により異なる結果を招く不確実性を含みます。

当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

また、当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

## 株式会社ブロードバンドセキュリティ

Internet mail: [ir@bbsec.co.jp](mailto:ir@bbsec.co.jp) WEB: <https://www.bbsec.co.jp/>  
東京本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-5-1 野村不動産西新宿共同ビル4F  
TEL : 03-5338-7430